

会議の名称	第12回 東村山駅周辺まちづくり協議会				
開催日時	平成 23 年 1 月 25 日 (火) 19:00 ~ 21:00				
開催場所	北庁舎2階 第3会議室				
出席者	出席者： (委員) 野口町1丁目自治会・野口町2丁目自治会・野口町4丁目自治会 仲好会自治会・美友自治会・本町1丁目自治会 本町2丁目自治会・久米川町4丁目自治会・東村山市商工会 東村山駅東口商店会・東村山駅西口共栄会・野口町親和会 東村山駅周辺まちづくり研究会・東村山青年会議所 29人 (U D) ア-パ`ンデ`ザ`イ`東村山会議 中谷氏・棚田氏・益田氏・中村氏 増田氏・三上氏・萩沢氏・川島氏 (事務局) 渡部市長・須崎まちづくり担当部長 まちづくり推進課：山下課長・谷主査・川崎主任・若林主事 産業振興課：竹部係長 (コソル) 日本交通計画協会 幡歩氏・小浦氏・鈴木氏				
傍聴の可否	傍聴可	傍聴不可の 場合はその 理由		傍聴者数	2 人
会議次第	1. 開会 2. 会議の公開に関する指針について 3. 議事 1)連続立体交差化計画と関連する道路計画の都市計画素案説明会 について(報告) 2)ワークショップ ・「駅周辺整備の方向性を考える」 ・発表 4. 次回日程 5. 閉会				
問合せ先	都市環境部まちづくり推進課 担当者名 谷・川崎・若林 電話：042(393)5111 FAX:042(397)9438				
配布資料	西武鉄道新宿線、国分寺線及び西武園線(東村山駅付近) 連続立体交差化計画と、関連する道路計画について(パンフレット)				

1. 開会

- 1) まちづくり推進課長よりあいさつ
- 2) 本日の会議内容・進行について説明を行った。
- 3) 事務局、UD、コンサルの紹介
- 4) 新規参加協議会委員の紹介

2. 会議の公開に関する指針について

- 1) 事務局より、「東村山市付属機関等の会議の公開に関する指針」の改正点について、説明を行った。
(改正点)
会議資料は、原則として会議の1週間前までに、委員に送付する。
傍聴者には、原則として、議事次第と会議資料を配布する。
会議録等のホームページ掲載期間は、会議開催日の属する年度の翌年度から起算して3年間掲載する。
- 2) 下記の件について、協議会委員より改めて了承を得た。
ホームページで公開する内容は、団体、自治会名のみ記載する。
協議会の写真は、市報やまちづくりニュースの中で使用することがある。

3. 議事

(座長)

- ・本日の協議会に傍聴希望者はいますか。

(事務局)

- ・本日は、傍聴希望者が2名お見えになっております。

(座長)

- ・事務局からの報告で、本日の傍聴希望者は2名お見えになっております。これを許可したいと思います。では、傍聴者の着席まで休憩します。

(休憩)

(座長)

- ・傍聴される方は、「東村山駅周辺まちづくり傍聴に関する定め」に従って傍聴をお願いいたします。

- 1) 連続立体交差化計画と、関連する道路計画の都市計画素案説明会の報告

(事務局)

- ・昨年11月29日、11月30日に開催した都市計画素案説明会について、パンフレットを使って説明した。

- 2) ワークショップ

事務局より、ワークショップについて説明を行った。

- ・テーマ：「駅周辺整備の方向性を考える」
- ・本日は、連続立体交差事業により、東村山駅が高架されることを踏まえ、東西の駅前広場の連絡、駅前広場をつなげた場合、人と自転車を通した場合、車を通した場合、それぞれどんなメリット、デメリットがあるか、人と自転車と車、それぞれの動線をイメージしながら、東西の駅前広場の接続をはじめとする駅周辺の整備等、東村山駅周辺整備の方向性について、活発に意見交換をしていきたいと思います。

ワークショップ

- ・参加者をAグループ、Bグループの2グループに分け、ワークショップを実施。

発表

- ・ワークショップにより出された主な意見等を、各グループの代表者が発表した。

(Aグループ)

- ・駅周辺は、賑わいを考えて、人を中心とした整備を行い、日中では時間を制限した車両進入規制を行い、イベント等がいつでも開催出来るような空間にしたい。
- ・東口と西口で個別にロータリーを整備し、東西の接続については、一般車両は通さずに、緊急車両のみ通行できる程度の接続でよい。
- ・南側に改札を設け、南口を整備してほしい。
- ・現在、美住町から市役所へ行くには大変遠回りになっており、JA農協の脇に道路を整備してほしい。
- ・駅周辺の狭隘道路を活かして、一方通行や時間帯別の車両進入禁止とし、幅員が広い車が通過する道路とは、上手く区分けをして整備するとよい。
- ・商店の賑わいや活性化のためには、東西駅前広場の連絡は、車が通行できる方がよい。車を通さないのでは、現状と変わらないのではないか。
- ・駅周辺地区周縁の空いたエリアで駐車場を整備し、パークアンドライドシステムとして活用し、交通の拠点、結節点として整備するとよい。

(Bグループ)

- ・駅を中心に、西口と東口をあわせて、一つのロータリーとして整備し、ロータリーの中心には、緑が豊かな公園を整備したい。
- ・人が集まり、賑わいや活性化のまちづくりのためにも、東村山らしさ、東村山固有のイメージである「みどり豊かなまち」を念頭に、駅前広場や駅周辺整備を進めたい。
- ・「みどり豊かなまち」として、駅周辺では、建物の高さの抑制や、屋上緑化等の方策を推進し、緑豊かな環境形成を進めたい。
- ・富士見町から東村山駅に向かうには、大変不便な状況なので、利便性が高い横断道路の整備が必要である。
- ・高架下では自転車道路や歩道を整備して、雨でも濡れずに駅へ向かえるような通路を

整備したらどうか。

- ・ 駅周辺の外縁では、一方通行としたドーナツ状のネットワーク道路を整備し、自動車の通過交通を中心部に進入させないようなことができるのではないか。
- ・ 自動車交通は、主に地上の2階以上で行い、地平レベルでは、人に利便性が高く、人にやさしい空間にしたい。
- ・ ペDESTリアンデッキを整備し、2階ではイベントスペースを設けて、人が往来できるような空間にしたい。
- ・ 駅よりやや離れた地域では、駐車場を整備し、市外からの来街者に利用してもらい、駅前のロータリーでは、市内居住者がゆったりと利用できるような空間にしたい。
- ・ 高架化により、現況の府中街道では交通量が減ることが予想できるので、駅前の中央公民館周辺では、歩行者にやさしくゆったりとした空間で、商店が集積した賑わいのある空間を形成したい。
- ・ 東口には以前商店街があったが、開発によって商店が分散してしまった経緯があるので、高架化を契機に、以前のような商店を集積し、賑わいを取り戻したい。
- ・ 東西の接続やまちの賑わいのためにも、駅では車を通して、駅周辺の狭隘道路で時間規制や一方通行規制等を設けて交通をコントロールすればよい。

市長あいさつ

4. 次回日程

事務局より以下の内容についてお知らせした。

- ・ 次回協議会日程 < 3月24日(木) >
- ・ 今後の予定

東村山駅周辺整備に関する意見募集 < 2月1日(火) ~ 2月17日(木) >

第3回東村山周辺まちづくりワークショップ日程 < 2月19日(土) >

5. 閉会